



総務委員  
鈴木 だいち  
☎070-2166-6260



環境建設委員長  
ほそや 正  
☎345-0818



厚生委員  
三輪 博美  
☎070-2806-7832

3月議会

2024年度  
予算可決

# 大地震から市民の命と 安全を守る対策の強化を!

各地で地震が起こり、小平でも大地震に備え対策の強化が重要になっています。能登半島地震の教訓から住宅の耐震強化、身近なところに安全で安心して避難できる避難所の整備・拡充などを党市議団として強く要求しました。

実現

●木造住宅耐震診断・耐震改修等の補助を充実

耐震診断上限額15万円・耐震改修上限額120万円



小川西グラウンド横防災倉庫を見学、防災備蓄や資機材等の説明を受けました

## 能登半島地震の教訓を生かした防災対策を!

【避難所生活の改善を要望】

高齢者、障害者、妊産婦、乳幼児等※スフィア基準に基づき安心して避難できる福祉避難所の拡充を求めています。

用語解説

※スフィア基準とは、トイレの設置基準や男女別の必要数、避難所一人当たりの最小面積等、災害、被災等により生活するための国際的な最低基準。

小中学校  
給食

すべての子どもたちの

## 完全無償化の実施を!

小中学校給食費の無償化が23区ではすべての自治体で、多摩地域でも西東京市・三鷹市・調布市・府中市・立川市・多摩市など加速度的に広がっています。

小平市でも公立・私立などすべての子どもたちの小中学校の給食費無償化の早急な実施を党市議団として強く要求し続けています。



福祉



教育・子ども子育て

実現

●高齢者補聴器購入費助成上限額4万円

党の提言 (対象:非課税世帯、65歳以上など)

非課税世帯や高齢者に限らず、補聴器を必要とするすべての方が利用できる制度への拡充を求めます

実現

●15歳までの医療費無料 (所得制限の撤廃)

党の提言

18歳まで医療費無料化・所得制限の早急な撤廃を求めています



実現

●産後ケア

訪問型に加え、宿泊型・デイサービスも新たに拡充されました

## 平和の灯を絶やさない



●毎年10人の子どもを広島平和記念式典に派遣 継続

党の提言

今、世界ではウクライナ侵略、ガザへの無差別攻撃により多くの市民が犠牲になっています。平和事業の取り組みはますます重要です。党市議団は毎年、広島平和学習の定員拡充など平和事業の継続・拡充を要望しています

3月議会

## 2件のPFAS請願が審査されました 1100筆以上の署名が集まる!



3月議会では2件のPFAS水汚染問題に関する請願が環境建設委員会 (3月15日) で審査され、そのうちの1件は

鈴木だいち議員が筆頭紹介議員を務めました。しかし、審査の結果、次の議会に向けて新たな請願を提出する運びとな

りました。

党市議団は、これからも市民のみなさんの命と健康を守っていくために、希望する市民の方への血液検査や井戸の調査の実施などPFAS水汚染問題に全力で取り組んでいきます!



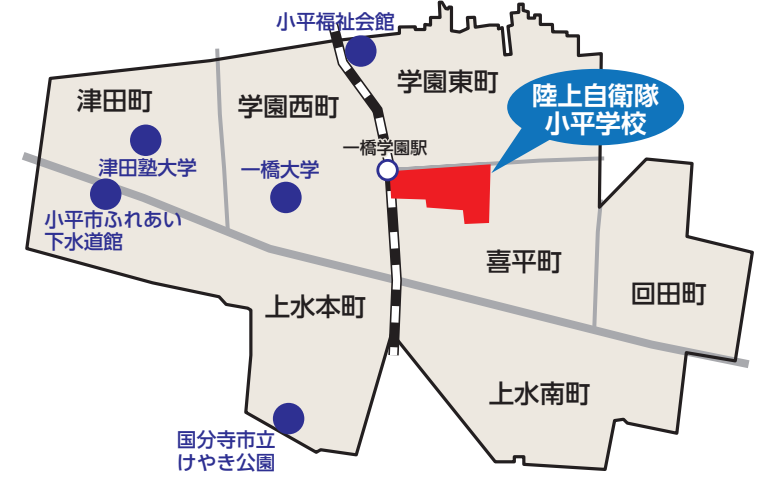
3月議会

市議団の一般質問

「陸上自衛隊小平学校」周囲1キロメートルに  
該当する対象区域の町名

喜平町を中心に学園東町や学園西町、上水本町、上水南町、津田町、回田町などの全部、または一部の地域が対象範囲となっていることが明らかになりました。

「陸上自衛隊小平学校」の周囲1kmが「注視区域」の対象に！



国から市へ示された「区域指定」候補の地域の丁目  
(2月29日、一般質問における市答弁より引用)

喜平町	1～3丁目	上水南町	1～4丁目
学園東町	1～3丁目	津田町	3丁目
学園西町	1～3丁目	回田町	
上水本町	1～6丁目		

※これらの地域の全部または一部が注視区域の候補地に

国は昨年12月、喜平町にある「陸上自衛隊小平学校」を「注視区域」の候補地として示しました。陸上自衛隊小平学校周囲1キロメートルが「注視区域」の対象となる見込みとなっています。注視区域において「機能阻害行為」が確認された場合、政府は住民に勧告、懲

罰を科すこともできます。あわせて土地価格への影響など住民からは心配する声が寄せられています。戦争準備のために国民監視を推し進めようとする「土地利用規制法」について、自治体として「注視区域」の施行・運用を廃止するよう政府へ要請すること、住民への丁寧な説明を自治体の責任で実施するよう要望しました。

「陸上自衛隊小平学校」周囲1キロメートルが「注視区域」の候補地に！

2021年に自公政権が強行採決した「土地利用規制法」。この法律は、「安全保障のため」という名目で基地や原発などに関わる施設周辺において戦争準備の法律です。ために広く国民を監視し、私権を制限するものです。対象となるのは、特別な人ではなく、誰もが監視や規制の対象となる



住民の暮らしが制限・監視される土地利用規制法は廃止を！

小規模事業者、フリーランス、建設業を請け負う一人親方等、様々な分野の労働者、事業主がインボイスの登録を迫られています。市内業者への影響を把握し地域経済を守ってほしいと要求しました。



インボイス制度の影響の把握を

消費税減税、インボイス制

公民館・地域センターをなくしていいのか？

花小金井北公民館と花小金井北地域センターが第十一小学校と複合化され二つの施設面積が半減。さらに地域施設への距離が遠くなることから防災拠点の減少要求しました。

度撤廃こそ、物価高騰から暮らしを守り、経済を立て直す最善の方策であると考えています。



インボイス制度の撤廃を！  
第十小等複合化を問う

視覚障害者、障害者団体の方々から「読み書きの支援に十分な時間を取ってほしい」「交通安全について改善を図ってほしい」等の要望を頂きました。市に対し、①同行援護事業について、支給時間数を月50時間にしてほしいと小平市視覚障が

い者協会から要望が出されています。現在月30時間のため時間拡充や課題点を問いました。②交通安全対策では、鉄道のホームドア整備は切実な要求です。西武鉄道は花小金井と小平の両駅で整備を検討。また、小川駅等での整備を望む声もあり、市は情報収集に努めるべきと求めました。③能登半島地震や大規模災害が頻発している状況を踏まえ、日常生活用具の品目に防災ラジオを追加して欲しいことも求めました。



視覚障害者の方への日常生活支援を！